



IT Holdings

2014年3月期 第3四半期決算説明資料

平成26年2月3日

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation

ITホールディングスグループ



2014年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2014年3月期 業績見通し

参考資料

2014年3月期第3四半期(累計) 業績ハイライト

(単位:百万円)



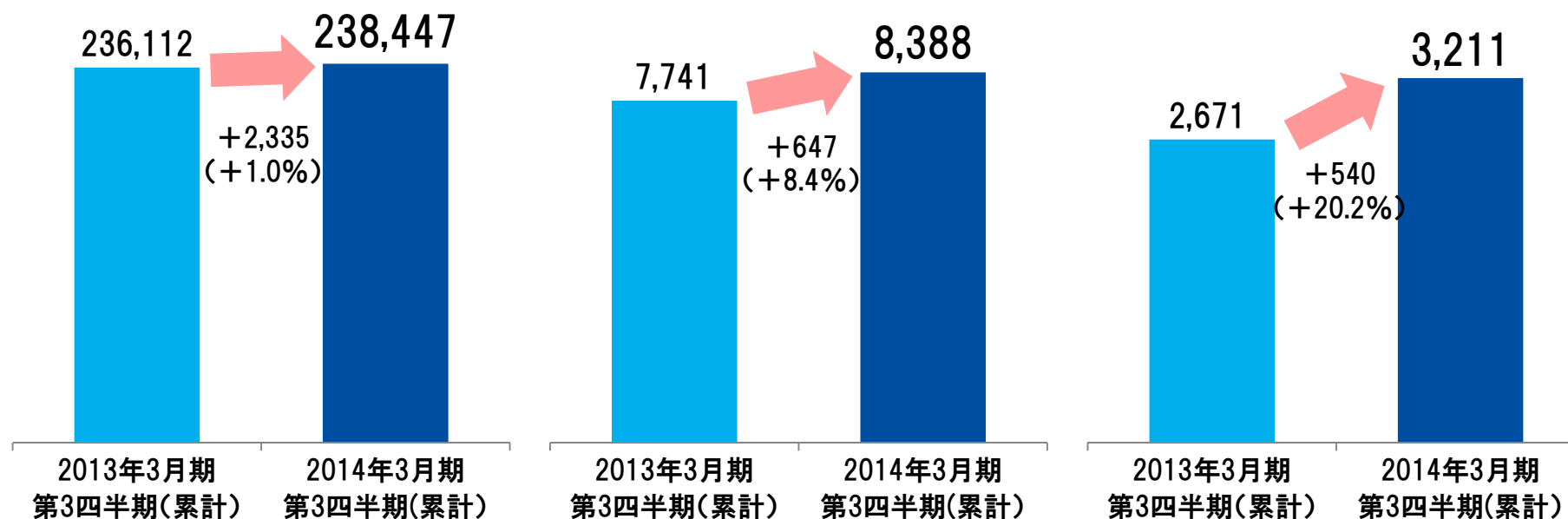
IT Holdings

- ▶ 政府の積極的な財政・金融政策の影響により、個人消費、輸出や生産等が牽引、緩やかな景気回復の動きが強まりを見せた。これに伴って産業分野でも徐々にIT投資意欲の高まりが感じられるようになった。
- ▶ 前年同期比増収増益。不採算案件の影響等を増収効果やコスト削減等によりカバー。

売上高 238,447百万円
前年同期比 +2,335百万円(+1.0%)

営業利益 8,388百万円
前年同期比 +647百万円(+8.4%)

四半期純利益 3,211百万円
前年同期比 +540百万円(+20.2%)



ITインフラストラクチャーサービス及び金融ITサービスが牽引、産業ITサービスにおける前期の大型開発案件の反動減をカバーして全体では前年同期を上回った。

不採算案件の影響はあったが、増収効果やコスト削減に努めたことから前年同期を上回った。

営業利益の増加や特別損失の減少等により、前年同期を上回った。

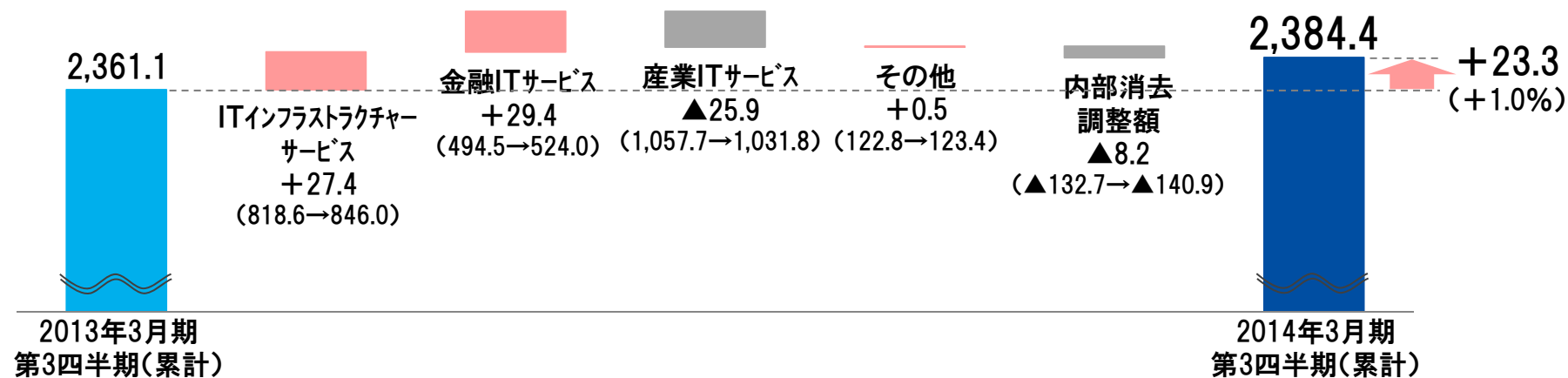
2014年3月期第3四半期(累計) 売上高・営業利益増減分析

(単位:億円)

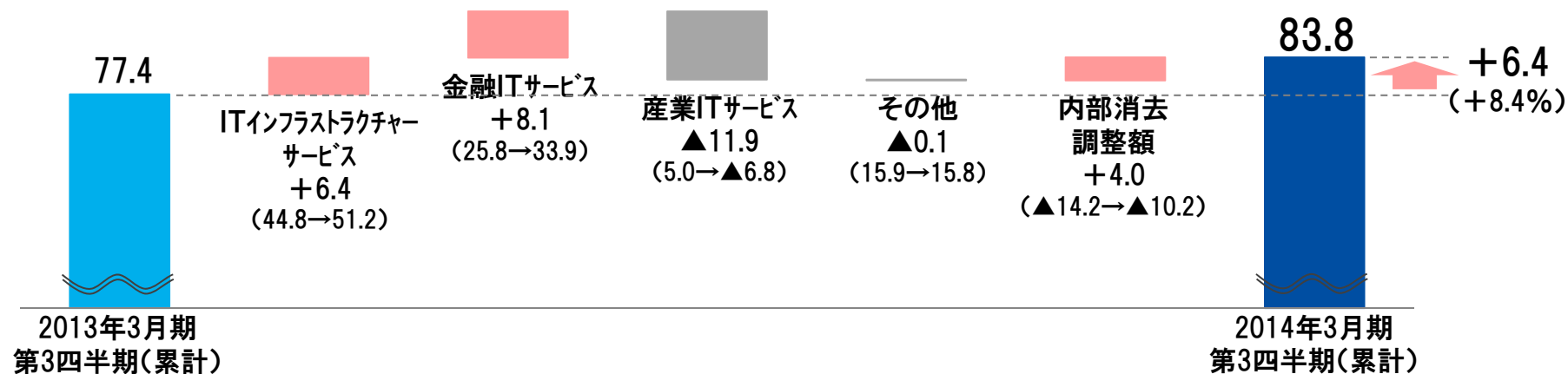


IT Holdings

<売上高>



<営業利益>



2014年3月期第3四半期(累計) 主要セグメント別損益状況

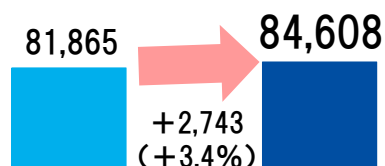
(単位:百万円)



IT Holdings

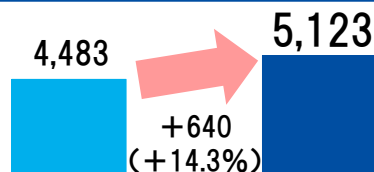
ITインフラストラクチャーサービス

売上高 84,608百万円
前年同期比 +2,743百万円(+3.4%)



2013年3月期 第3四半期(累計) 2014年3月期 第3四半期(累計)

営業利益 5,123百万円
前年同期比 +640百万円(+14.3%)

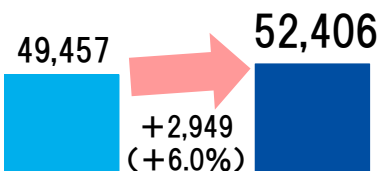


2013年3月期 第3四半期(累計) 2014年3月期 第3四半期(累計)

データセンター事業における利用拡大や少額投資非課税制度(NISA)関連の対応を含めたBPO事業が好調に推移したこと等から増収増益。

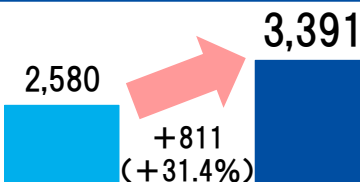
金融ITサービス

売上高 52,406百万円
前年同期比 +2,949百万円(+6.0%)



2013年3月期 第3四半期(累計) 2014年3月期 第3四半期(累計)

営業利益 3,391百万円
前年同期比 +811百万円(+31.4%)

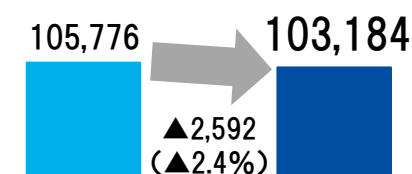


2013年3月期 第3四半期(累計) 2014年3月期 第3四半期(累計)

クレジットカード、銀行、保険の主要顧客における緩やかなIT投資拡大の動き等により増収増益。

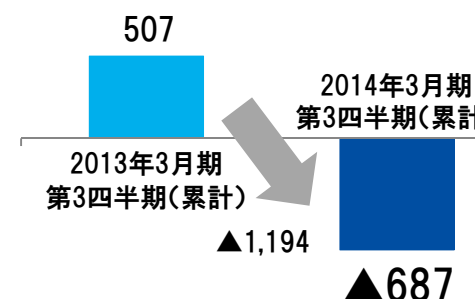
産業ITサービス

売上高 103,184百万円
前年同期比 ▲2,592百万円(▲2.4%)



2013年3月期 第3四半期(累計) 2014年3月期 第3四半期(累計)

営業利益 ▲687百万円
前年同期比 ▲1,194百万円



大型開発案件に係る反動減等により減収。一部の開発案件における追加費用計上や営業体制強化に向けた販売費増加の影響等により減益。

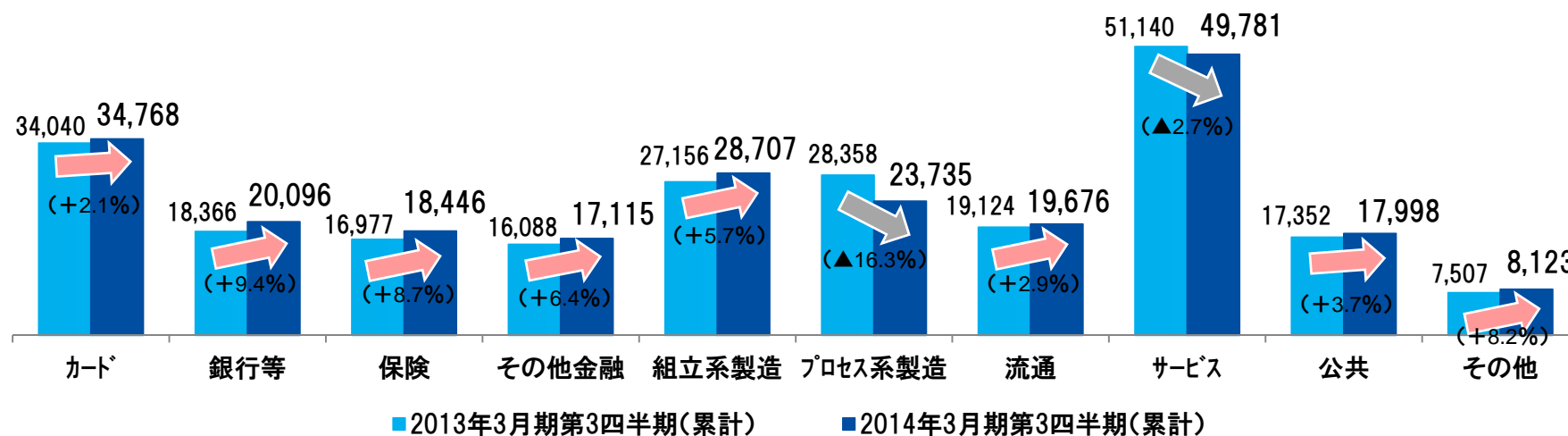
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

<参考>2014年3月期第3四半期(累計) 業種別売上高

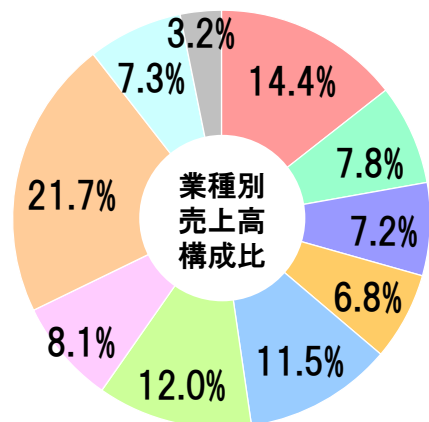
(単位:百万円)



IT Holdings

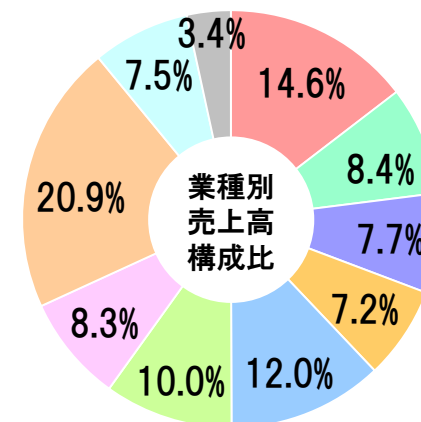


<2013年3月期第3四半期(累計)>



金融分野:36.2% 産業分野:53.3%
公共分野:7.3% その他:3.2%

<2014年3月期第3四半期(累計)>



金融分野:37.9% 産業分野:51.2%
公共分野:7.5% その他:3.4%

2014年3月期第3四半期(累計) 受注状況

(単位:百万円)

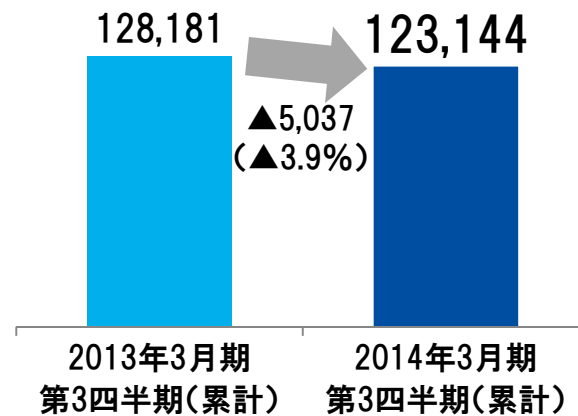


IT Holdings

受注高は第1四半期における端境期の影響等により減少となったが、引合いは活況。第2四半期の金融ITサービスに続き、第3四半期には産業ITサービスも前年同期比プラスに転じた。期末受注残は前年同期並みの水準。

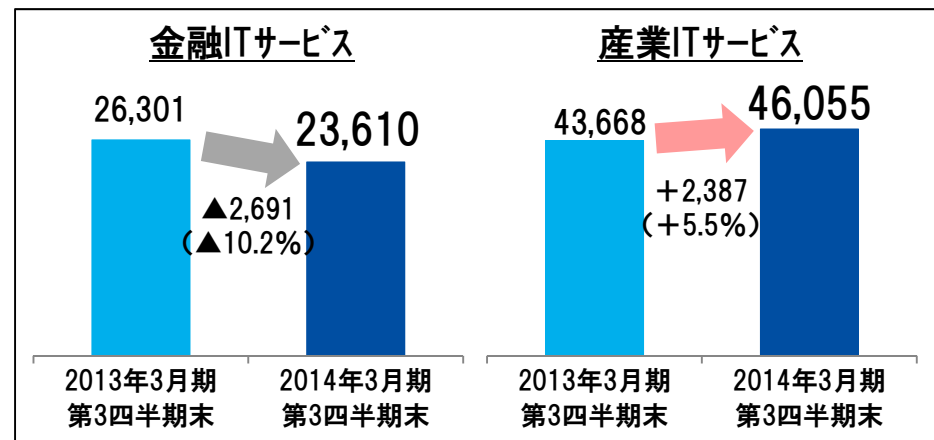
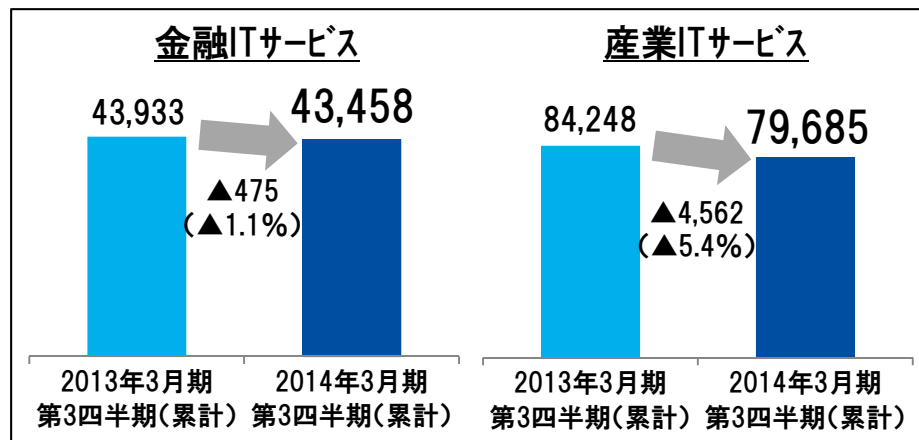
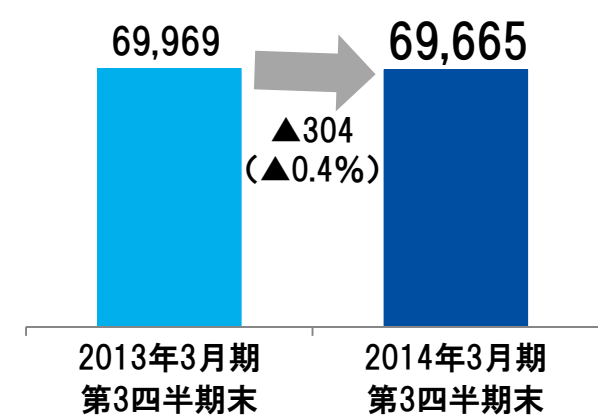
当期受注高 123,144百万円

前年同期比 ▲5,037百万円(▲3.9%)



期末受注残 69,665百万円

前年同期比 ▲304百万円(▲0.4%)



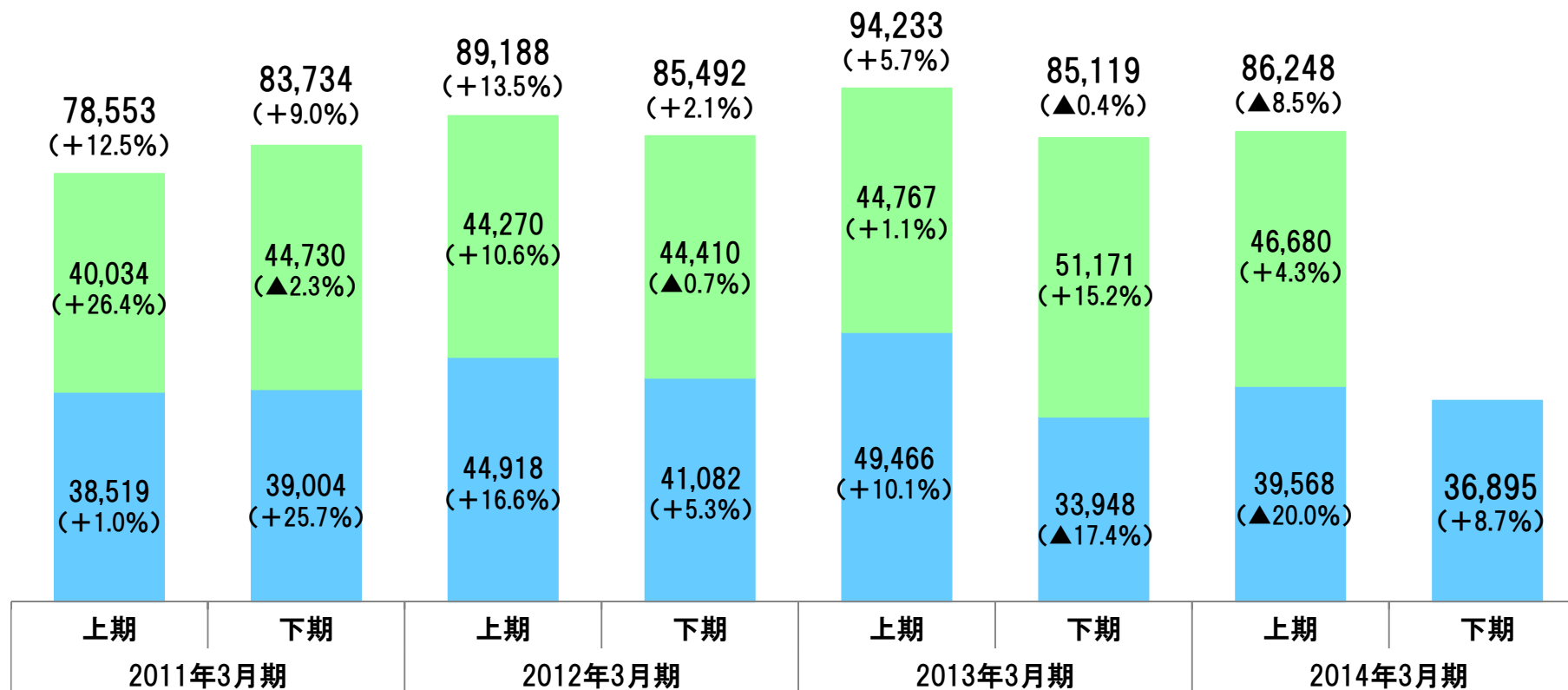
当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

受注高の推移

(単位:百万円)



IT Holdings



■ 上期:第2四半期、下期:第4四半期
 ■ 上期:第1四半期、下期:第3四半期

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

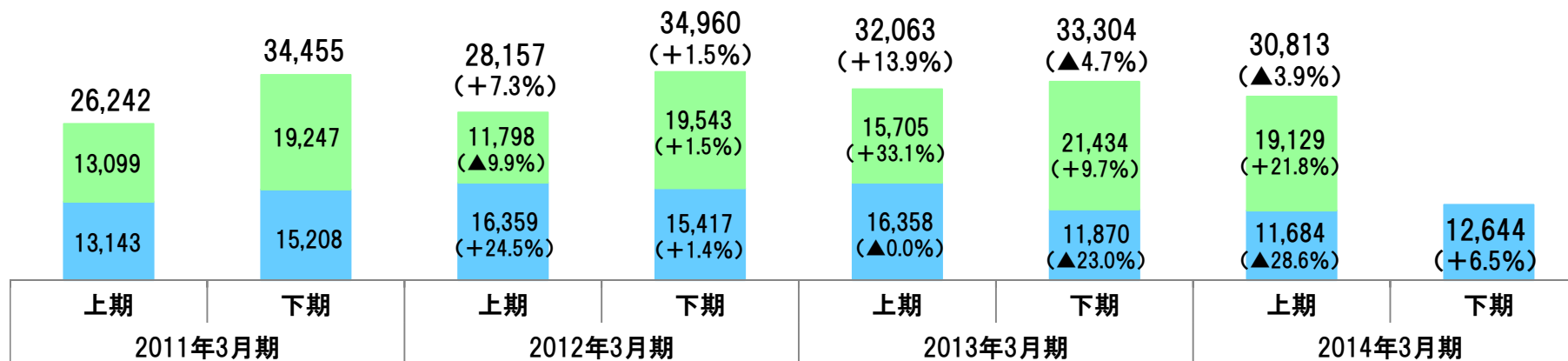
受注高の推移

(単位:百万円)

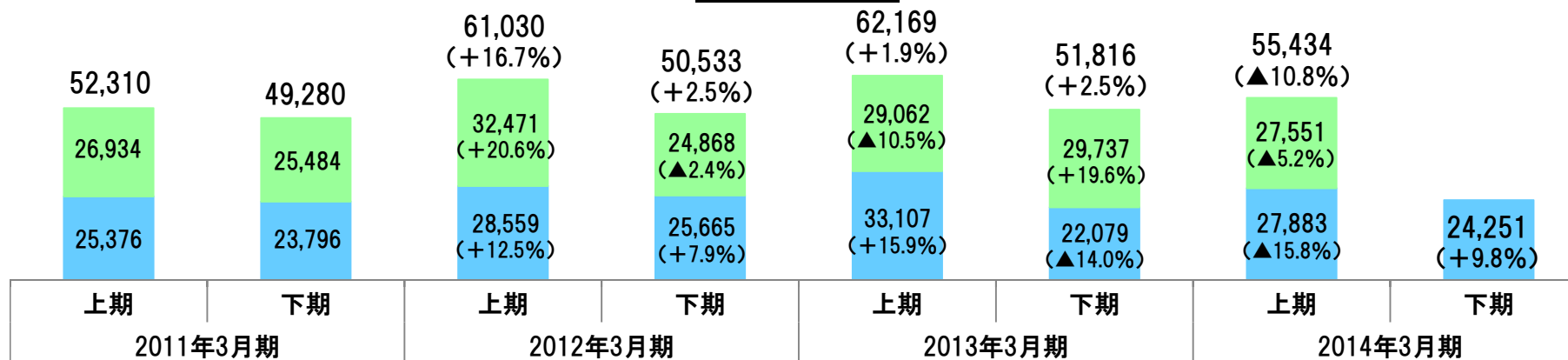


IT Holdings

金融ITサービス



産業ITサービス



■ 上期:第2四半期、下期:第4四半期
 ■ 上期:第1四半期、下期:第3四半期

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみのみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率(但し、セグメント別受注高は2011年3月期より開示)。



2014年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2014年3月期 業績見通し

参考資料

2014年3月期通期 業績予想ハイライト

(単位:百万円)



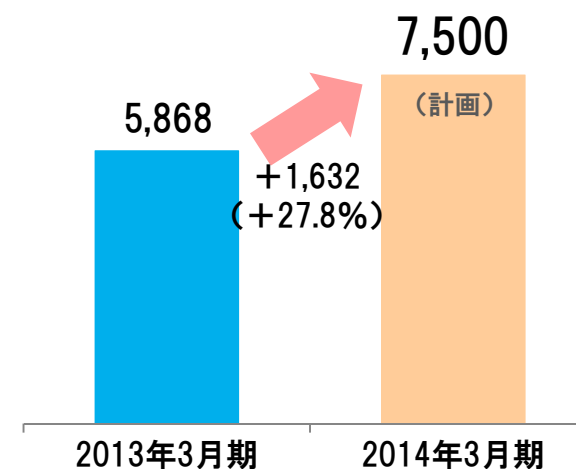
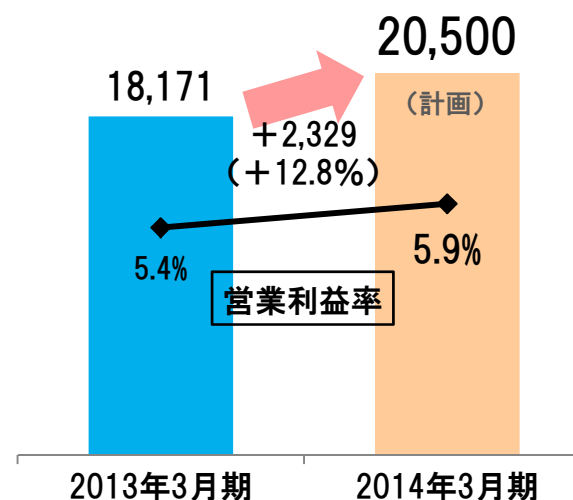
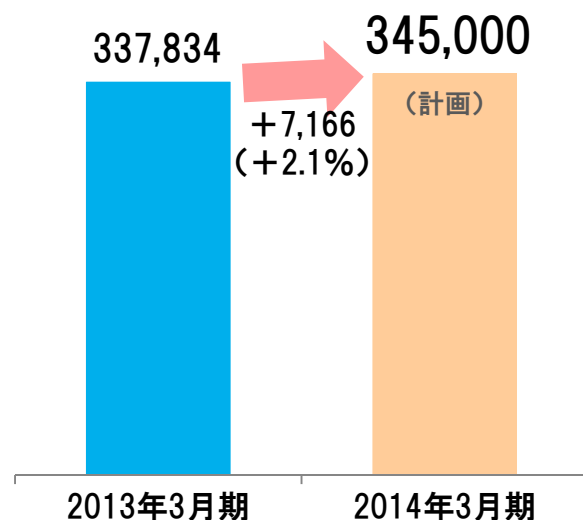
IT Holdings

- ▶ 前期比増収増益の期初計画に変更なし。
- ▶ 営業利益の進捗がやや芳しくないが、事業環境の改善効果やコスト削減等に努め、グループ一丸となって計画達成を目指す。

売上高 345,000百万円
前期比 +7,166百万円(+2.1%)

営業利益 20,500百万円
前期比 +2,329百万円(+12.8%)

当期純利益 7,500百万円
前期比 +1,632百万円(+27.8%)



産業ITサービスにおける前期の大型開発案件の反動減等をカバーして、前期比増収を見込む。

増収効果や生産性向上、コスト削減等により前期比増益を見込む。

営業増益に加え、特別損失の減少により、前期比増益を見込む。

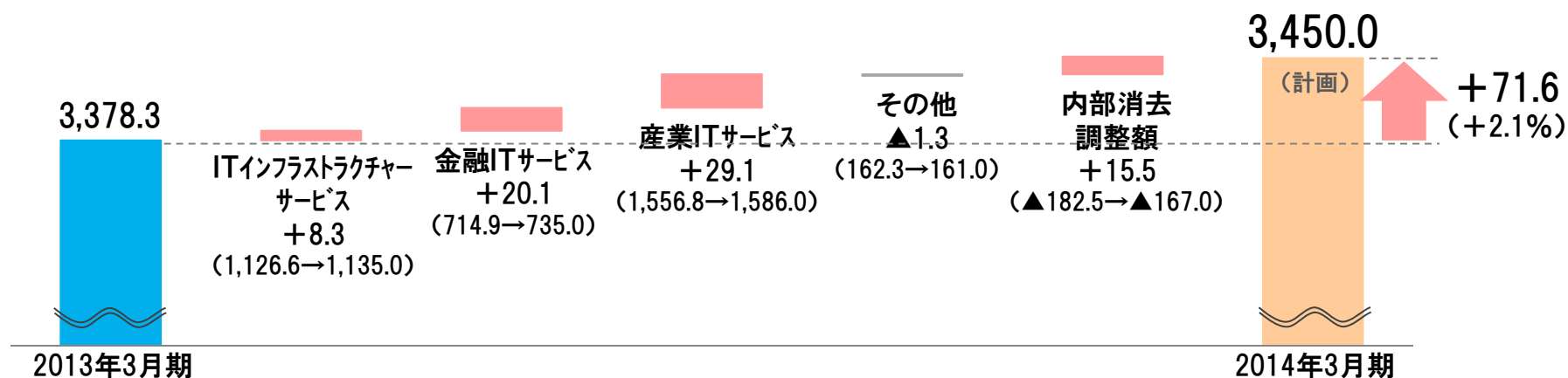
2014年3月期通期 売上高・営業利益増減分析(予想)

(単位:億円)

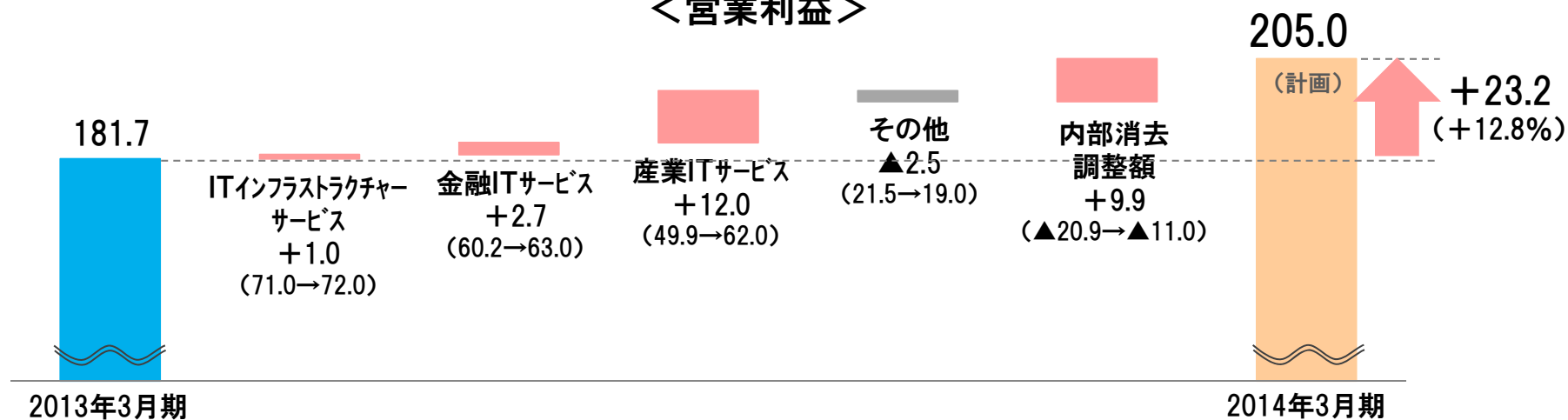


IT Holdings

<売上高>



<営業利益>



2014年3月期通期 主要セグメント別損益状況(予想)

(単位:百万円)

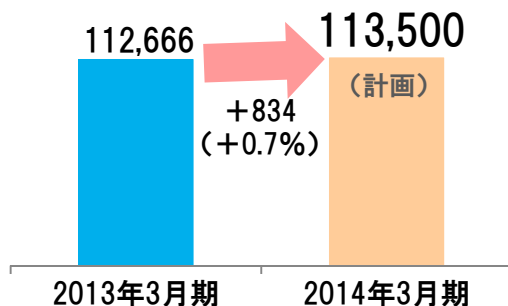


IT Holdings

ITインフラストラクチャーサービス

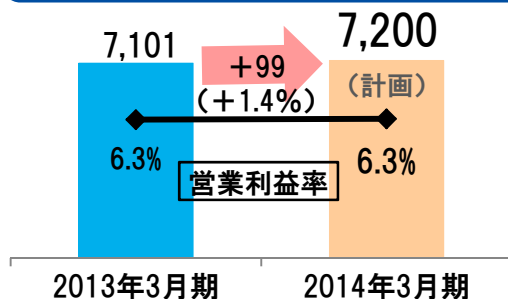
売上高 113,500百万円

前期比 +834百万円(+0.7%)



営業利益 7,200百万円

前期比 +99百万円(+1.4%)

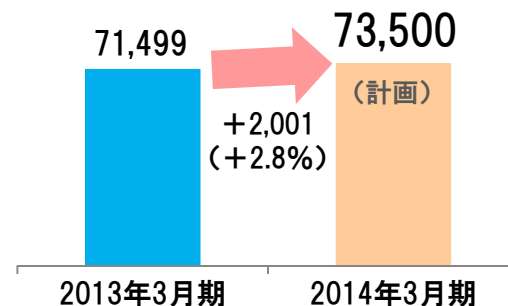


GDC御殿山の損益改善やBPOの堅調な推移等に伴い、増収増益を見込む。

金融ITサービス

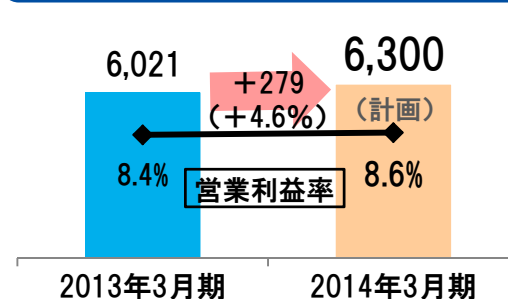
売上高 73,500百万円

前期比 +2,001百万円(+2.8%)



営業利益 6,300百万円

前期比 +279百万円(+4.6%)

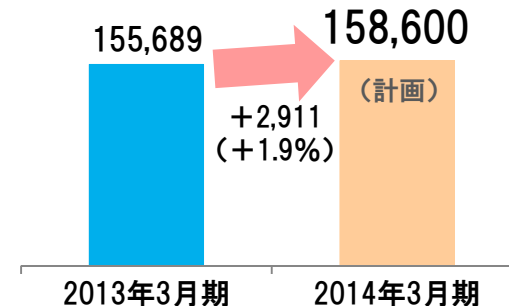


銀行やクレジットカードの伸びに伴い、増収増益を見込む。

産業ITサービス

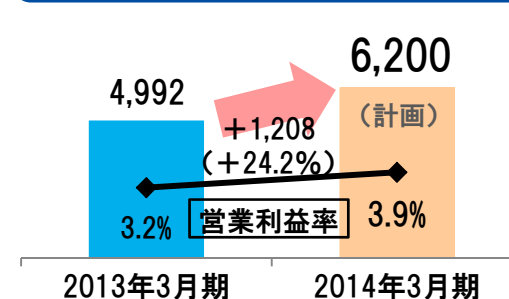
売上高 158,600百万円

前期比 +2,911百万円(+1.9%)



営業利益 6,200百万円

前期比 +1,208百万円(+24.2%)



大型開発案件の反動減を案件積み上げでカバーするとともに、コスト削減等により増収増益を見込む。

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

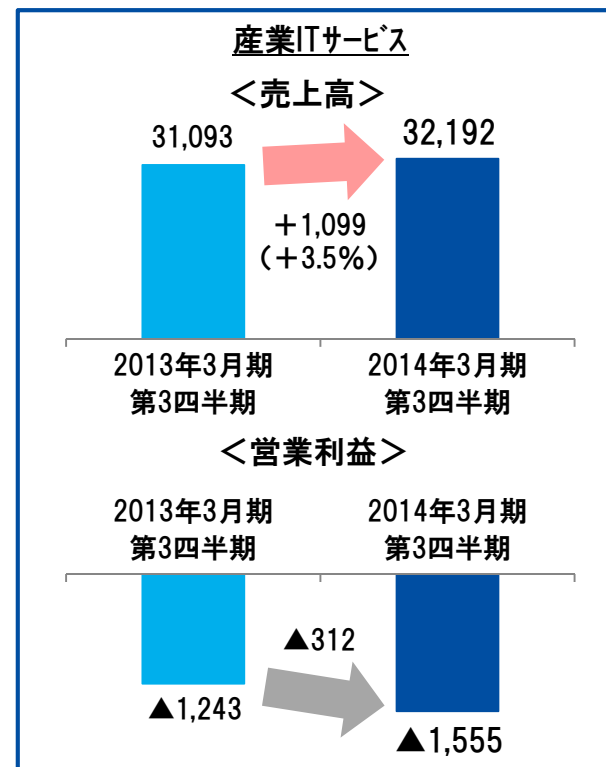
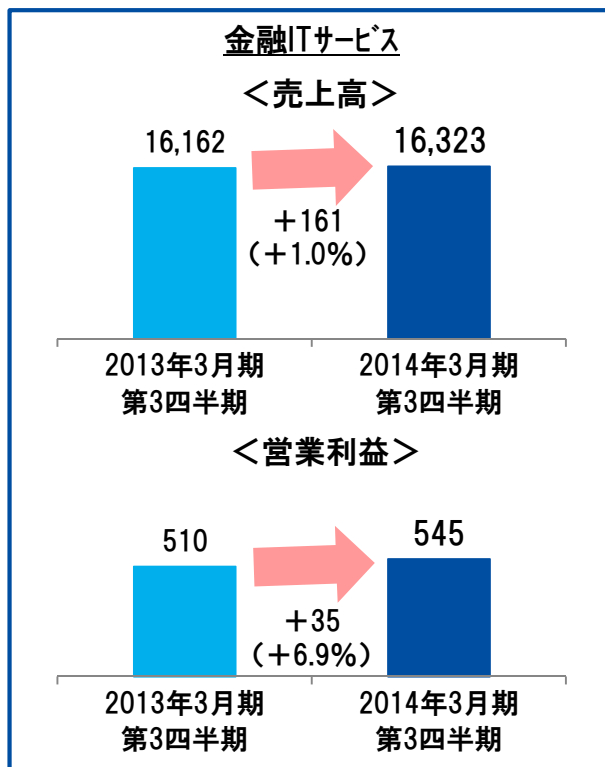
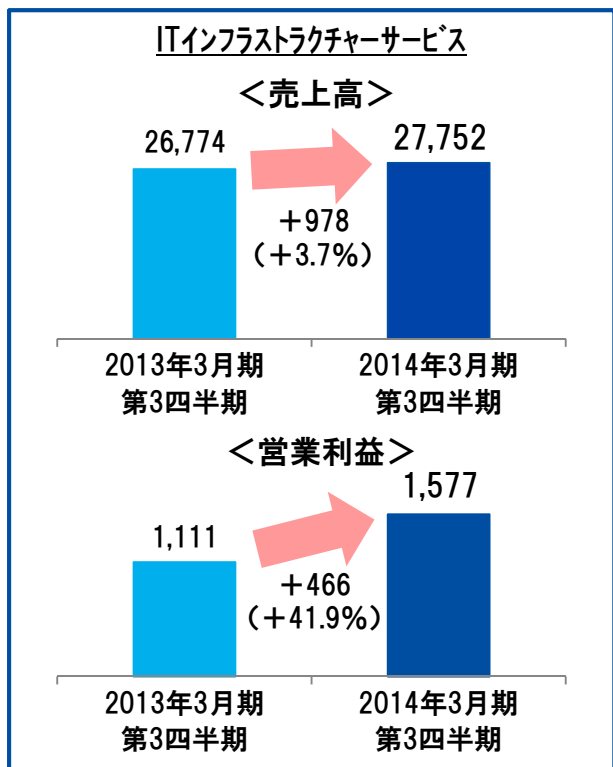
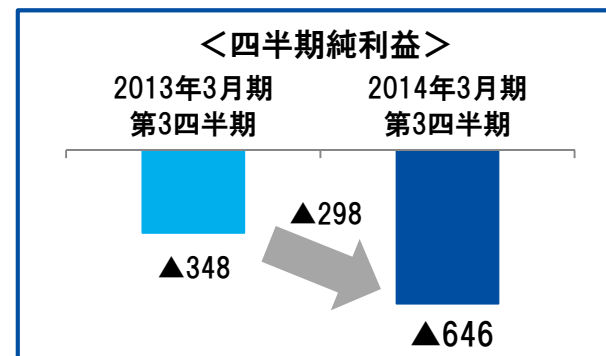
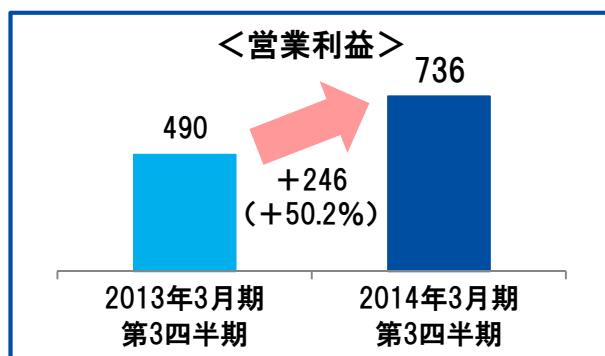
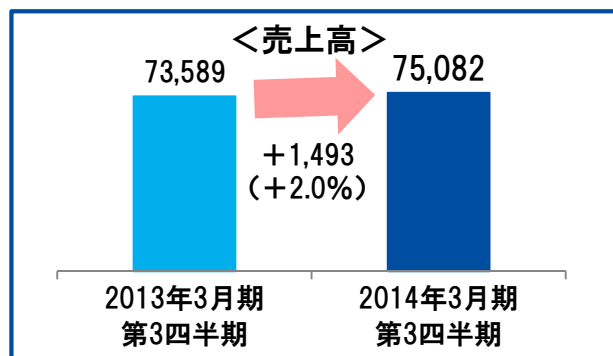


2014年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2014年3月期 業績見通し

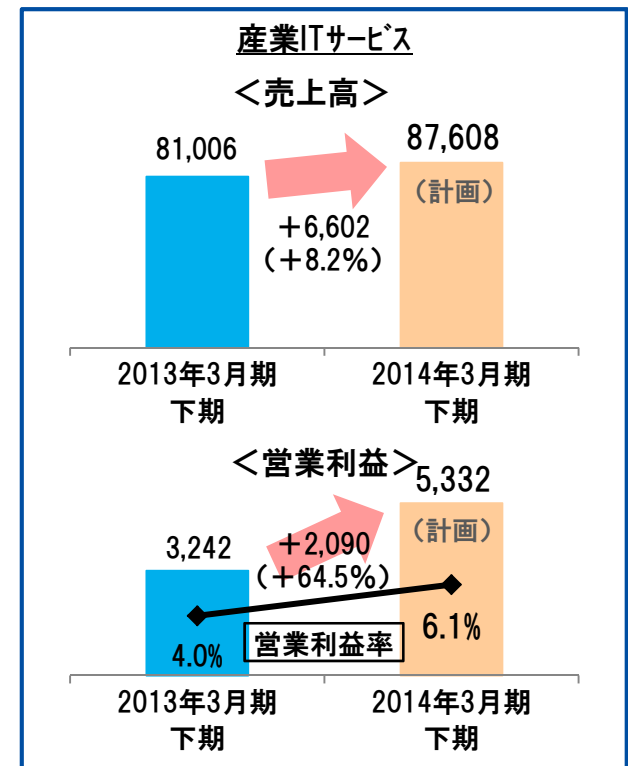
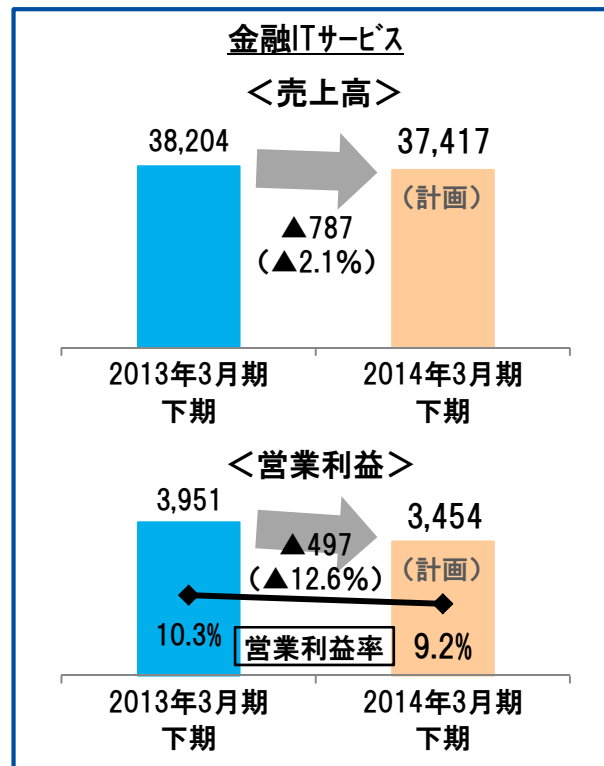
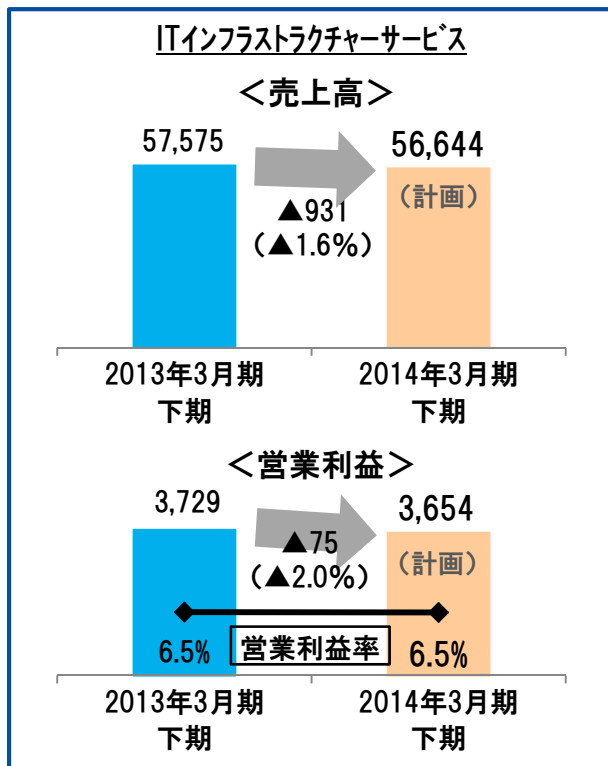
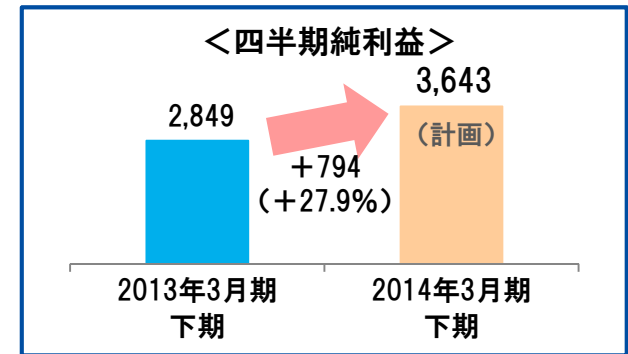
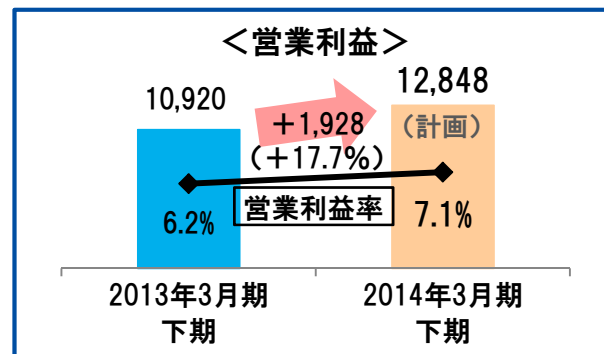
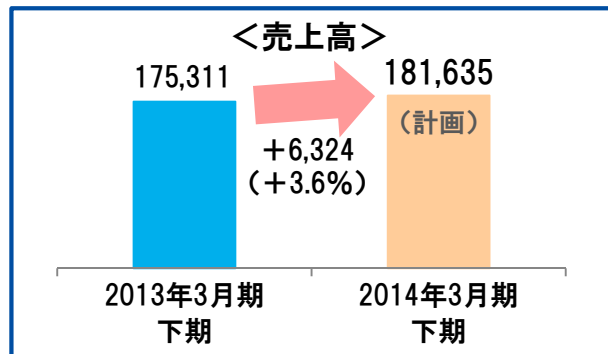
参考資料

2014年3月期第3四半期 業績ハイライト・主要セグメント別損益



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

2014年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。下期計画は通期計画から上期実績を控除したものです。

2014年3月期第3四半期 ITHDグループ プレスリリース/お知らせ一覧



IT Holdings

発表日付	タイトル
2013/10/1	「ユビキタスプラットフォーム」を整備する専門組織を設置(インテック)
2013/10/7	ビジネスクラウドサービス「EINS/SPS SelfPortal」、お客さまの社内ネットワークとクラウドを安全に直接接続できる新機能を提供開始(インテック)
2013/10/15	アグレックスとFPT Software、ベトナムでグローバルBPO事業を開始(アグレックス)
2013/10/21	インテック武漢が創立10周年(インテック)
2013/10/21	TISとSAPジャパン、金融業界におけるビジネスで協業(TIS)
2013/10/21	GDC御殿山がクレジットカード業界の国際的なデータセキュリティ基準「PCIDSS ver2.0」完全準拠証明を取得(TIS)
2013/10/22	完全Web-ERP「GRANDIT」人事考課機能を強化 人事考課支援システム「P-TH」と連携(AJS)
2013/10/24	TIS、ジェネツの自治体向け新水道料金徴収システム構築を支援(TIS)
2013/10/24	日本薬剤師会とネクスウェイ、『日薬情報おまとめ便サービス』提供開始(ネクスウェイ)
2013/10/28	7社共同で、「金融機関向け『Amazon Web Services』対応セキュリティリファレンス」を改訂し第1.2版を公開(TIS)
2013/10/29	TIS、ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学と提携(TIS)
2013/10/30	創立50年記念事業として、本社ビル21階を一般公開「タワー111展望」(インテック)
2013/11/5	仮想化環境と物理環境を同時に監視・管理するツールMoonWalker ver.3.0をリリース(クラウド・スコープ・テクノロジーズ)
2013/11/5	SRA OSSとTISが共同でPostgreSQLの性能監視が行えるZabbixテンプレート『PostgreSQL monitoring template for Zabbix』をOSSとして公開(TIS)
2013/11/14	インテック、フィデアホールディングスに、情報系システムインフラ「F3(エフキューブ)クラウド プラットフォームサービス」を提供開始(インテック)
2013/11/22	北日本銀行、インテックが提供する地域金融機関向けクラウドサービス型CRM「F3(エフキューブ)クラウド CRMサービス」の採用を決定(インテック)
2013/11/22	NTTソフトウェアとセキュリティソリューションに関する一次代理店契約を締結(TIS)
2013/11/28	TIS、『自律型ハイブリッドクラウドプラットフォーム』の技術開発プロジェクトを開始(TIS)
2013/12/2	ネオアクシスとインフォアが中堅規模製造業向けの生産管理ソリューション分野で協業(ネオアクシス)
2013/12/6	TIS、「RemoteWorks」の新メニュー「RemoteWorks WOL-BOX」の提供を開始(TIS)
2013/12/11	TIS、国際ブランドプリペイドカード事業のサポートサービス『PrepaidCube+』を提供開始(TIS)
2013/12/16	並列分散ストレージ技術を用いた太平洋横断ライブマイグレーションに成功(インテック)
2013/12/18	TIS、アサヒ飲料のARとGPSを活用したスマートデバイスの営業支援システムを構築(TIS)
2013/12/24	TIS、ジェイアイエヌの働きやすい職場作りを下支えする人事給与・勤怠管理統合システム構築を支援(TIS)
2013/12/25	デジタルガレージ子会社のecontext ASIAとTISが資本業務提携、アジアのEC事業者に向けたソリューション提供を共同で推進(TIS)



IT Holdings

(ご注意事項)

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。